The Map and Image Processing System

TNTmips®

Install Guide Book Series

2013,1

TNTmips 2013

インストールガイド

For Windows®

www.opengis.co.jp

本書は、Microsoft Windows XP/Vista/7/8 がインストールされた PC に TNT 製品をインストールするためのガイドです。詳細についてはインストール DVD 内の英文インストールガイドをご参照下さい。不明な点については、弊社（ TEL: 03-3623-2851 ）までお問い合わせ下さい。

※本インストールガイドは、64bit 版 Windows 7 を使用して書いています。

CONTENTS

①インストールの前に … 2

1－1. TNTmips の動作環境 …… 2
1－2. ライセンスについて …… 2
1－3. 新規にライセンスを購入された場合 …… 3
1－4. 既存のライセンスをバージョンアップする場合 …… 4

② TNTmips のインストール 5

2－1. インストール DVD を使う場合 …… 5
2－2. ダウンロードする場合 …… 8

③キードライバのインストールとキーの接続 8

ライセンスキーはここで挿入します。

④ TNTmips の起動 11

⑤言語の設定 16

5－1. 表示言語の設定 …… 16
5－2. フォントの設定 …… 17

⑥パッチの適用 19

⑦アンインストール 21

7－1. TNTmips のアンインストール …… 21
7－2. キードライバのアンインストール …… 24

FAQ　よくある質問 25

①インストールの前に ...

インストールを行う際は Administrator（管理者権限）でログインして作業を行なってください。

お使いの OS が最新の状態であるか確認してください。最新でない場合は、Windows Update で更新してください。

1－1. TNTmips の動作環境

TNTmips 2013 は Windows XP（32bit）/Vista（32bit、64bit）/7（32bit、64bit）/8（32bit、64bit）で問題なく動作します。
以下に最低限必要なスペックと推奨スペックを記載します。より高性能な PC を使うと、処理速度の向上が期待できます。

プロセッサ	: Intel Pentium4 以上、または 100%互換 PC を推奨
メモリ	: 最低 1GB、4GB 以上を推奨
ハードディスク	: 2GB 以上推奨
ディスプレイ	: Super VGA 1024×768×32 ビット以上推奨。 TNTsim3D には最新の Direct X または OpenGL が必要です。

1－2. ライセンスについて

TNT 製品には以下の 6 種類のライセンスがあります。

1） TNTmips Pro シングルライセンス（ポータブルライセンス）

ライセンスキー（USB キー）を挿入した PC でのみ、TNTmips Pro を使うことができます。

2） TNTmips Pro フローティングライセンス（ネットワークライセンス）

ネットワーク内のライセンス数を一括に管理するライセンスです。ネットワーク内の PC にライセンスキー（USB HASP Net キー）を挿入すると、そのネットワーク内のライセンスを自動的に管理し始めます。ライセンス管理システムを起動するための設定は特にありません。
HASP Net キーについての説明はマイクロイメージ社のインストール / セットアップガイドにも記載されております。翻訳したガイドを弊社サイトにて公開しています。

マイクロイメージ社　インストール / セットアップガイド：
http://www.opengis.co.jp/getstartj/install_J.pdf

シングルライセンスもフローティングライセンスもセットアップ手順は同じです。
HASP Net キーは 2010 年 8 月以降から導入された新しいフローティングライセンスキーです。それ以前のフローティングライセンスキーの場合、Flexlm（ライセンスサーバ）の設定が必要になります。Flexlm の設定については以前のフローティングライセンス用インストールガイド（http://www.opengis.co.jp/htm/win_inst/mips72_float_guide.pdf）をご覧ください。

3） TNT Basic コンピュータロックライセンス

特定の PC で TNTmips Basic を使えるようにします。ライセンスを別の PC に移すことはできませんが、同じ PC であれば OS をアップグレードしたり、ハードディスクをフォーマットしても使い続けることが出来ます。
このライセンスタイプでは USB キーは使わず、マイクロイメージ社が発行するライセンスファイルを使い TNTmips Basic を起動します。

4） TNT Basic ポータブルライセンス

TNTmips Pro のシングルライセンスと同じように、ライセンスキー（USB キー）を PC に接続して使用します。

5） TNTmips ネットワークライセンス

フローティングライセンスと同じように、複数個のライセンスをネットワーク上で管理できます。

6） TNTmips Free

TNTmips Free は、TNTmips の無料ソフトウェアです。ライセンスキー（USB キー）は必要ありません。
処理できるデータサイズに制限がありますが、タイルセット機能と SML 機能を除いた解析機能をお使いいただけます。これから GIS を学ぼうとしている方に最適な GIS ツールです。少し古いですが、TNT Basic 及び TNT Free のインストールガイドを下記 URL よりダウンロードできます。

TNT Basic Free 2009 インストールガイド：
（http://www.opengis.co.jp/htm/tntmips_win/installguide_win_2009freebasic.pdf）

1－3. 新規にライセンスを購入された場合

ライセンスキーと一緒に、インストール用 DVD が同梱されています。
すでに TNTmips 2013 がインストールされている場合は、DVD からインストールする必要はありません。8 ページの「③キードライバのインストールとキーの接続」(p.8) を行ってください。もしも、DVD を使って再インストールしたい場合は、TNTmips をアンインストールしてから再インストールしてください。

1－4. 既存のライセンスをバージョンアップする場合

● v2013 へのバージョンアップの場合

ご注文の後、マイクロイメージ社からバージョンアップコードが提供されます。弊社からメールまたは FAX でご連絡します。

> **ライセンスキー番号 # ○○○○○のバージョンアップデートコードが参りましたので、ご連絡します。**
>
> **キー番号 # ○○○○○ 用 TNT2013 バージョンアップコード：**
> ***********************************
> **1111 AAAA 2222 BBBB**
> ***********************************
> **16 桁の 16 進数です。入力時、スペースはなくても構いません。**

バージョンアップコードは、インストール時に使用します。

すでに TNTmips 2013 をダウンロードしてお使いであれば、30 日間の試用期間が切れるまで、そのまま継続してお使いください。期間が切れた時点でコードの入力を促されます。

バージョンアップコードをお知らせした日付以降に公開された TNTmips 2013 をダウンロードして使う場合、バージョンアップの情報が登録されていますので、コード入力の必要はなくなります。

バージョンアップの場合は、TNTmips の入った DVD は送付されません。お手数ですが、8 ページの「2- 2. ダウンロードする場合」を参考にバージョンアップ用のソフトウェアをダウンロードしインストールしてください。

TNTmips のインストール用 DVD が必要であれば、お手数ですが弊社へご連絡ください。

●次期バージョンの予約購入の場合

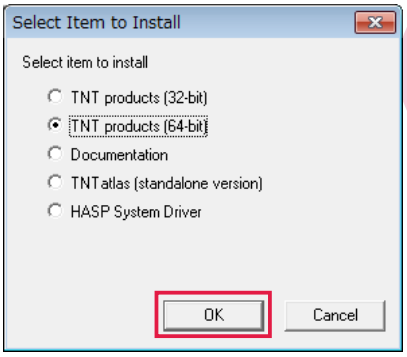
正式リリース後の TNTmips にバージョンアップの情報が組み込まれています。そのため、バージョンアップコード提供はされません。TNTmips をインストールすればすぐにお使い頂ける状態になっています。

② TNTmips のインストール

TNTmips は機能別に Pro/Basic/Free の 3 種類がありますが、ソフトウェア自体は 1 つです。
TNTmips をインストールするには、「インストール DVD からインストールする方法」と「マイクロイメージ社のサイトから TNTmips をダウンロードし、それをインストールする方法」(p.8) があります。
インストール DVD を使う場合、ドライブにインストール DVD をセットするとすぐに TNTmips のインストーラが起動します。他方、ダウンロードの場合はマイクロイメージ社のサイトから TNTmips をダウンロードしますので、TNTmips を入手するのに少し手間がかかりますが、マイクロイメージ社が公開している最新のパッチ（バグやエラーの修正プログラム）を適用した TNTmips を入手することが出来ます。

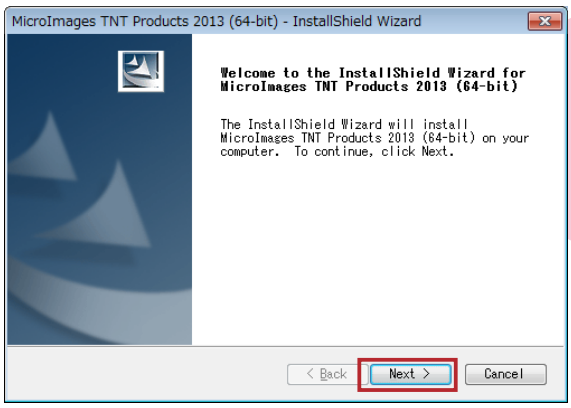
2－1. インストール DVD を使う場合

DVD をドライブにセットします。自動的に左のようなウィンドウが現れます。現れない場合は、マイコンピュータを開き、DVD ドライブをダブルクリックします。
タイトルが現れたら、[Install...] ボタンを押します。

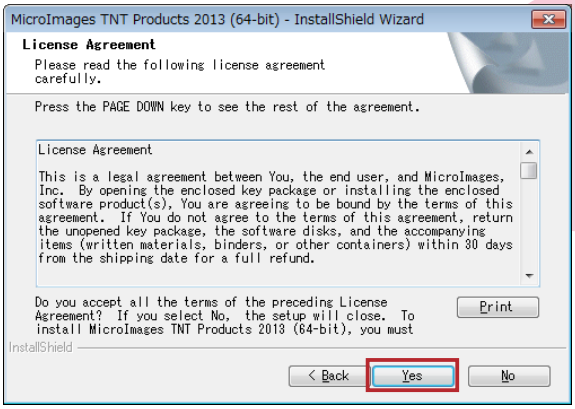


DVD に収録されているプロダクトの一覧が表示されます。お使いの OS に合った TNT products を選択してください。
ここでは TNT products(64-bit) を選択します。

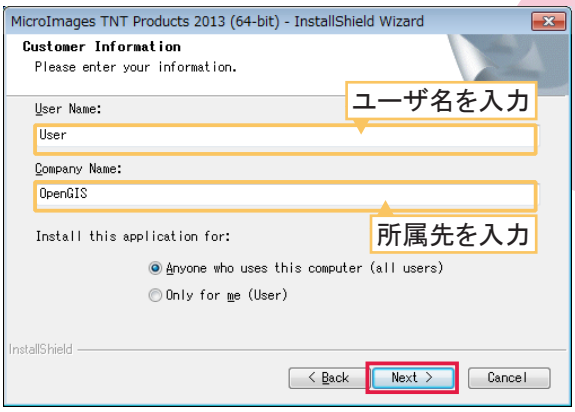
Windows Vista/ 7/ 8には“ユーザーアカウント制御”という機能がデフォルトで有効に設定されています。有効になっている場合「認識できないプログラムがこのコンピュータへのアクセスを要求しています」というタイトルのウィンドウが現れますが［許可］を選択して次へ進みます。



InstallShield Wizard が立ち上がります。［Next］ボタンを押します。

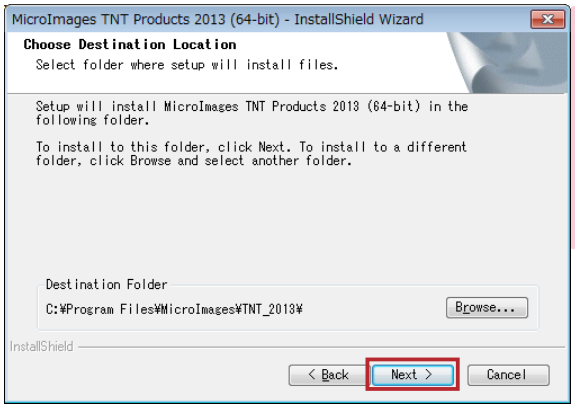


License Agreement が現れます。記載内容を確認したら［Yes］ボタンを押し、次に進みます。

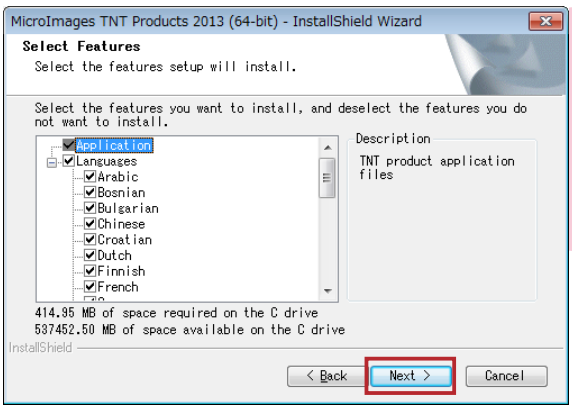


ユーザ情報を入力します。上段にはユーザ名を、下段には所属先を入力して下さい。

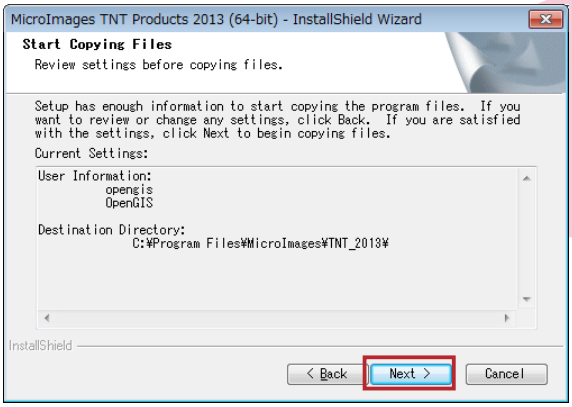
入力が終わりましたら、［Next］ボタンを押します。



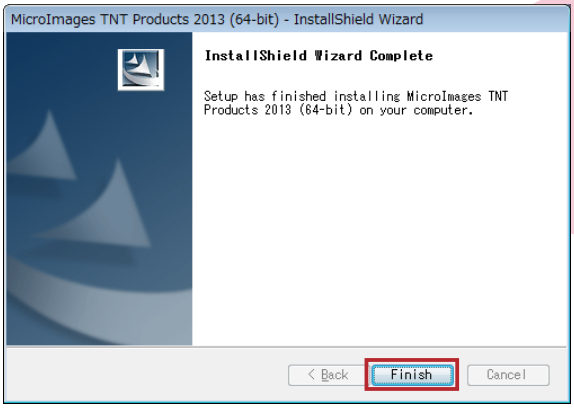
インストール先を指定します。
デフォルトのままで良ければそのまま［Next］ボタンを、変更したい場合は［Browse...］ボタンを押してインストール先のフォルダを指定してください。



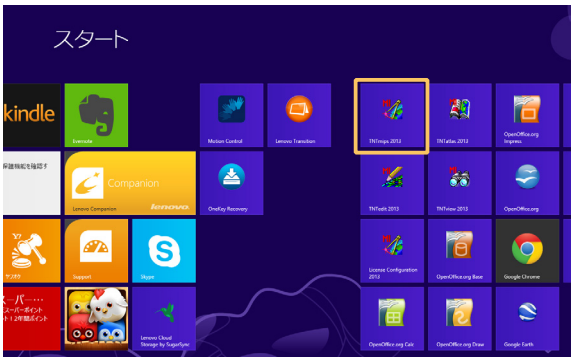
インストールする言語を指定します。このまま［Next］ボタンを押します。



ユーザ情報とインストール先の確認ウィンドウが現れます。確認後、［Next］ボタンを押すとインストールが始まります。



インストールが終わりましたら、［Finish］ボタンを押し、InstallShield Wizard を閉じます。

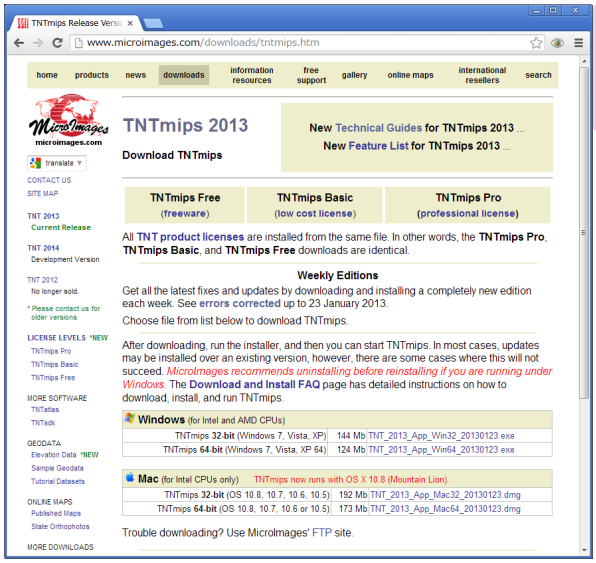


Windows 8では、スタート画面に TNTmips のアイコンが表示されます。

以上で TNTmips のインストールは完了です。

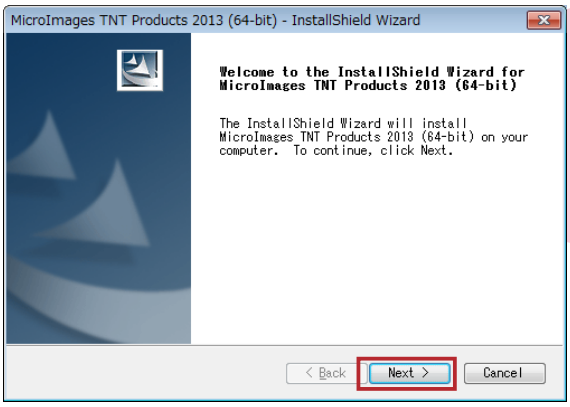
- TNTmips Pro の場合 → 「③キードライバのインストールとキーの接続」（p.8）へお進みください。
- TNTmips Free の場合 → 「TNTmips Free として利用する場合」（p.11）へお進みください。
- TNTmips Basic の場合 → 「TNTmips Basic として利用する場合」（p.13）へお進みください。

2－2. ダウンロードする場合



マイクロイメージ社のダウンロードページより、お使いの OS にあった TNTmips をダウンロードしてください。

マイクロイメージ社 TNTmips ダウンロードサイト：
http://www.microimages.com/downloads/tntmips.htm



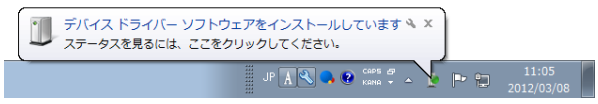
ダウンロードした“exe ファイル”を実行すると、InstallShield Wizard が現れます。

以後 TNTmips のインストール方法は 5 ページの「2－1. インストール DVD を使う場合」と同じです。そちらをご覧下さい。

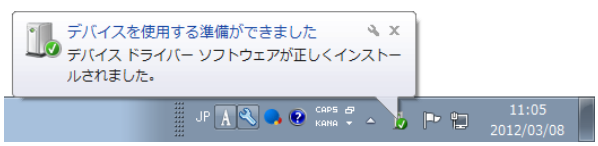
③ キードライバのインストールとキーの接続

TNTmips をインストールした後でライセンスキーを挿入してください。

PC にライセンスキーを挿入します。



自動的にキードライバのインストールが始まります。



デバイスを使用する準備ができましたというメッセージが出れば、インストール完了です。

● コマンドプロンプトからインストール

キードライバがうまくインストールすることができない … という場合は、手動でドライバをインストールします。

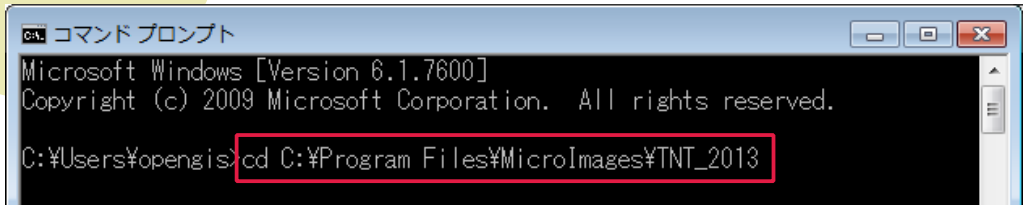
キードライバのアンインストールが必要になるかもしれません。その場合は、24 ページの「7－2．キードライバのアンインストール」をご覧下さい。

スタートメニューから、［すべてのプログラム］＞［アクセサリ］＞［コマンドプロンプト］を選択します。

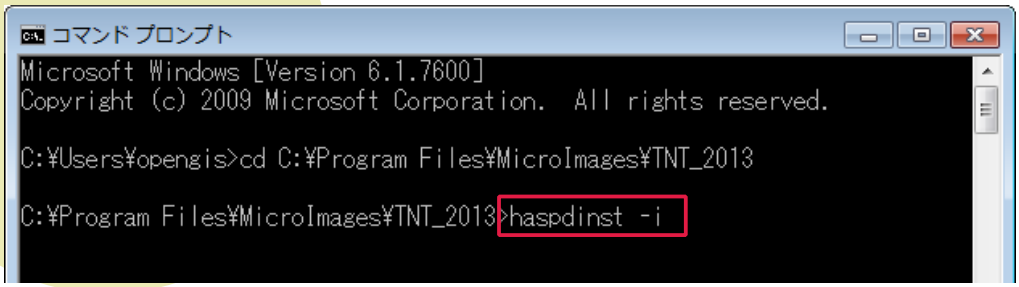
TNTmips 2013 をインストールしたフォルダへ移動します。

コマンドプロンプトより、cd␣C:¥Program␣Files¥MicroImages¥TNT_2013
と入力します。

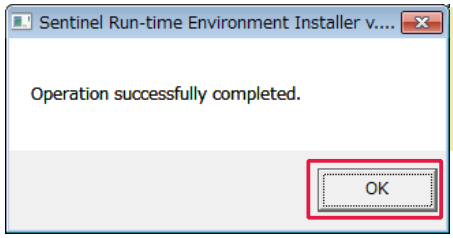
注）␣ は半角スペースを表しています。



プロンプトが C:¥Program Files¥MicroImages¥TNT_2013> であることを確認し、
haspdinst␣-i(-install の略)
と入力し、インストールプログラムを実行します。



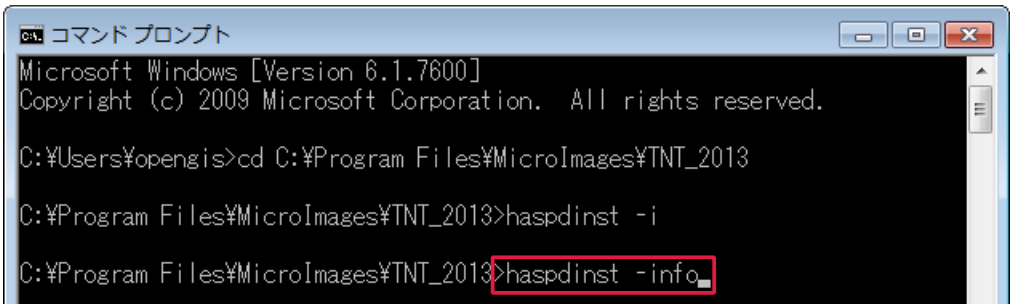
プログラムが正しく実行されたことを確認したら、ライセンスキーを PC に接続します。

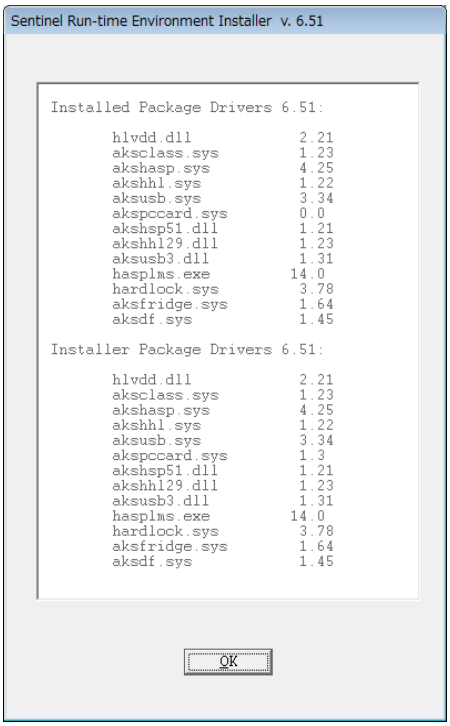


ドライバが正常にインストールされるとタスクバーに「デバイスを使用する準備ができました」と表示されます。

参考

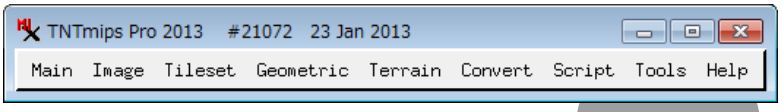
haspdinst [] –i ではなく、haspdinst [] –info とすると、ドライバのバージョンなどの情報を見ることができます。





④ TNTmips の起動

スタートメニューより [すべてのプログラム] ＞ [MicroImages] ＞ [TNT Products 2013] ＞ [TNTmips] を選択します。



TNTmips のメインウィンドウが現れます。このウィンドウを＜メインメニュー＞と呼びます。

シングルユーザライセンスキーが挿入されている場合は、シングルユーザライセンスとして起動します。シングルユーザライセンスキーが挿入されておらず、ネットワーク内にフローティングライセンスが挿入されているPCがある場合は、フローティングライセンスのクライアントとして起動します。

● TNTmips Free を利用する場合

TNTmips Free とは？

TNTmips Free は、TNTmips の無料ソフトウェアです。処理できるデータサイズに制限がありますが、タイルセット機能と SML 機能を除いた解析機能をお使いいただけます。これから GIS を学ぼうとしている方に最適な GIS ツールです。ライセンスキー（USB キー）は必要ありません。

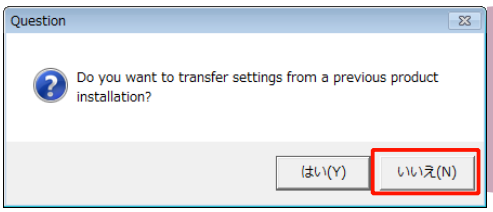
処理できるデータサイズ

TNTmips Free で扱えるデータサイズは. . .

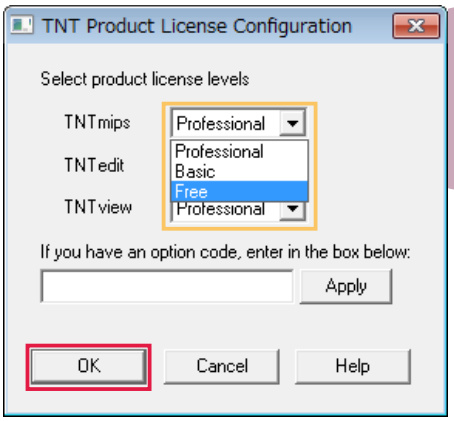
ラスタ　・・・　トータルで1，000，000ピクセルまで。
「ライン数× カラム数」で言えば、1024x 975、1，952× 512などのサイズのラスタが扱えます。
ベクタ　・・・　1500点、1500ライン、500ポリゴン、1500ラベルまで
CAD　・・・　500要素、5ブロックまで
シェイプ　・・・　500要素まで
Lidar　・・・　500，000ポイントまで
データベース・・・1テーブルにつき1500レコードまで

TNTmips Free を起動する

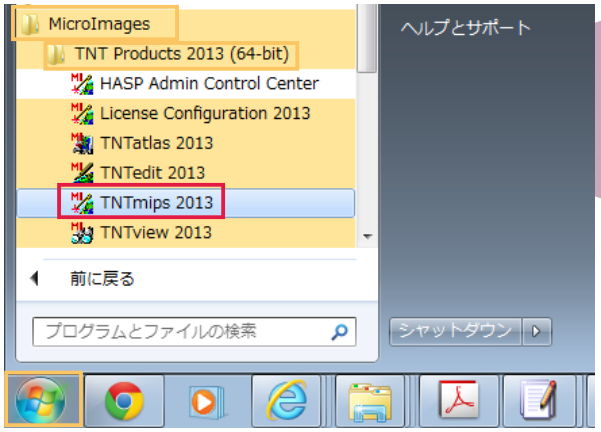
スタートメニューから、［すべてのプログラム］ ＞ ［MicroImages］ ＞ ［TNT Products 2013］ ＞ ［License Configuration 2013］ を選択します。



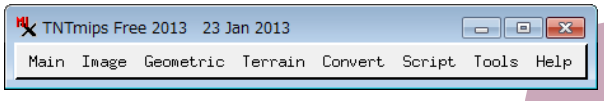
以前の設定を引き継ぎますかというメッセージが現れますが、[いいえ] ボタンを押します。

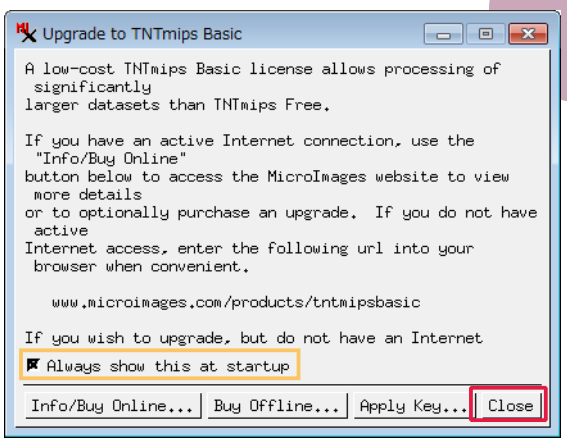


＜ TNT Product License Configuration ＞ウィンドウが現れます。起動する全ての製品の隣にあるリストで Free を選択します。選択しましたら［OK］ボタンを押します。



スタートメニューから、［すべてのプログラム］＞［MicroImages］＞［TNT Products 2013］＞［TNTmips］を選択します。

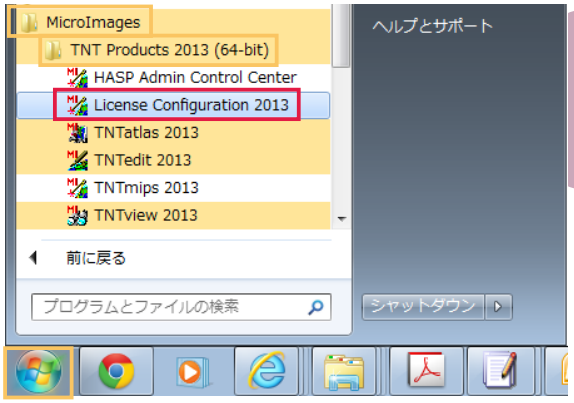




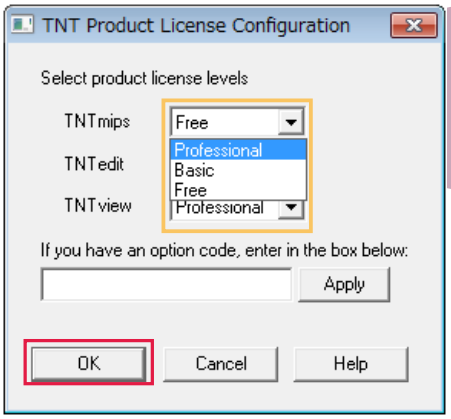
メインメニュー、チュートリアルのインデックス、TNTmips Free を TNTmips Basic へアップグレードする際に使う＜ Upgrade to TNTmips Basic ＞ウィンドウが現れます。タイミングによっては、＜ Tutorial OverView ＞ウィンドウが現れることがあります。

＜ Upgrade to TNTmips Basic ＞ウィンドウの Always show this at startup のチェックを外すと、起動時にこのウィンドウが現れなくなります。

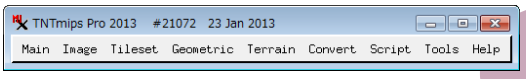
再度、TNTmips Pro として起動するには. . .



スタートメニューから、［すべてのプログラム］＞［MicroImages］＞［TNT Products 2013］＞［License Configuration 2013］を選択します。



＜TNT Product License Configuration ＞ウィンドウで、TNTmips の隣にあるリストから Professional を選択します。



TNTmips を起動すると、TNTmips Pro として起動します。

● TNTmips Basic を利用する場合

TNTmips Basic とは

TNTmips Basic は TNTmips の低価格ソフトウェアです。処理できるデータサイズに制限がありますが、TNTmips Free よりも大きなサイズのデータを扱うことができます。

処理できるデータサイズ

TNTmips Basic で扱えるデータサイズは. . .

ラスタ	・・・	トータルで4, 000, 000ピクセルまで。 「ライン数 × カラム数」で言えば、614× 6, 514、1, 024× 3, 906、 1, 280×3, 125などのサイズのラスタが扱えます。
ベクタ	・・・	3, 000点、3, 000ライン、1, 000ポリゴン、3, 000ラベルまで
CAD	・・・	1, 000要素、5ブロックまで
シェイプ	・・・	1, 000要素まで
Lidar	・・・	2, 000, 000ポイントまで
データベース	・・・	1テーブルにつき3, 000レコードまで

3つのライセンスタイプ

TNTmips Basic には3つのライセンスタイプがあります。

ポータブル：

TNTmips Pro のシングルライセンスと同じように、ライセンスキー（USB キー）を PC に接続して使用します。

ネットワーク：

フローティングライセンスと同じように、複数個のライセンスをネットワーク上で管理できます。

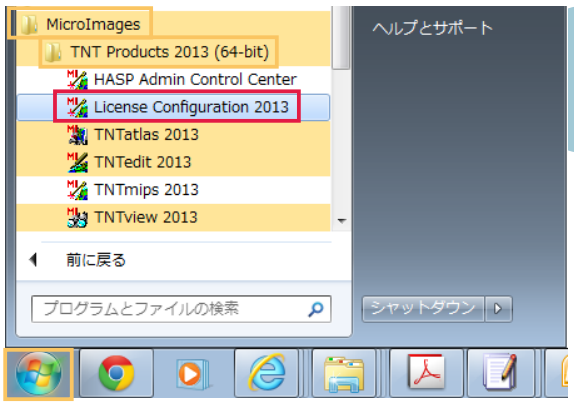
コンピュータロック：

特定の PC で TNTmips Basic を使えるようにします。ライセンスを別の PC に移すことはできませんが、同じ PC であれば OS をアップグレードしたり、ハードディスクをフォーマットしても使い続けることが出来ます。このライセンスタイプでは USB キーは使わず、マイクロイメージ社が発行するライセンスファイルを使い TNTmips Basic を起動します。

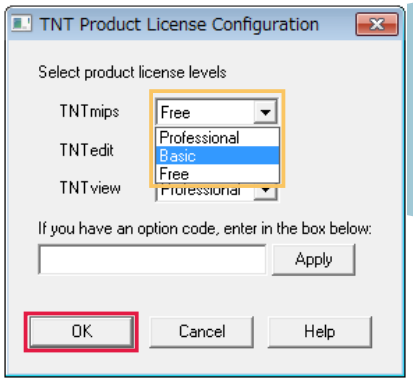
TNTmips Basic を起動する

ここではポータブルタイプのライセンスで TNTmips Basic を起動する方法をご紹介します。

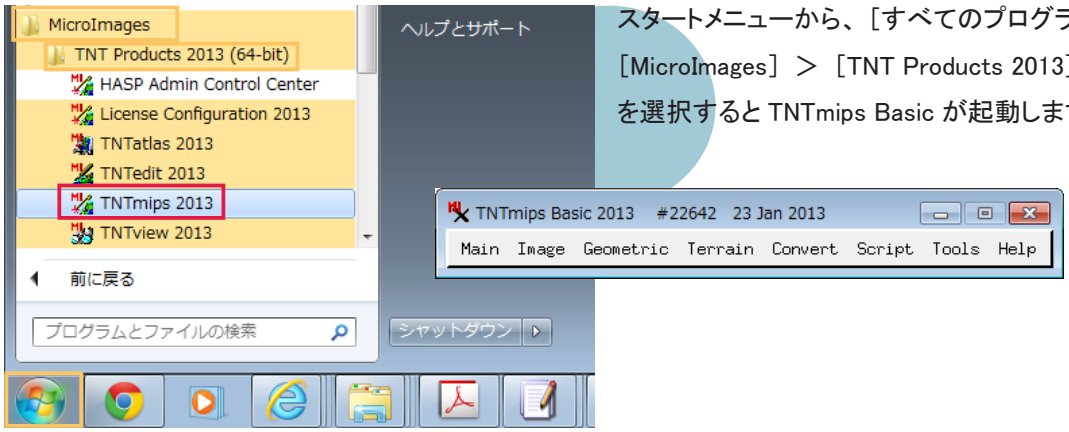
キードライバがインストールされている PC に TNTmips Basic のライセンスキーを接続します。キードライバがインストールされていない場合は、8 ページの「③キードライバのインストールとキーの接続」を参考に、キードライバをインストールしてください。



スタートメニューから、［すべてのプログラム］＞［MicroImages］＞［TNT Products 2013］＞［License Configuration 2013］を選択します。



＜TNT Product License Configuration＞ウィンドウが現れます。すべての製品で Basic を選択し、［OK］ボタンを押します。



スタートメニューから、［すべてのプログラム］＞［MicroImages］＞［TNT Products 2013］＞［TNTmips］を選択すると TNTmips Basic が起動します。

TNTmips Pro に切り替えてご使用の場合は、TNTmips Basic を一旦終了し、TNTmips Pro のライセンスキーに差し替えて上記の License Configuration でライセンス設定を [Professional] に変更してください。

少し古いですが、TNT Basic 用のインストールガイドを弊社サイトにて公開しています。

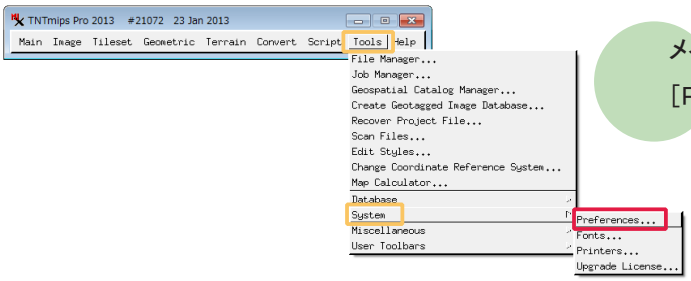
TNT Basic Free 2009 インストールガイド：

http://www.opengis.co.jp/htm/tntmips_win/installguide_win_2009freebasic.pdf

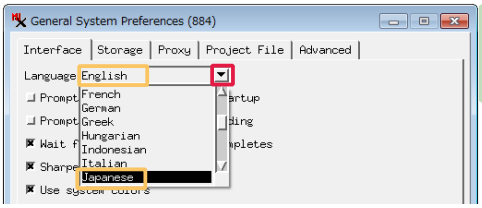
⑤ 言語の設定

5－1. 表示言語の設定

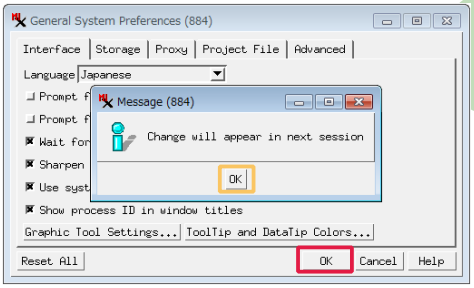
TNTmips を起動すると英語インターフェイスが表示されます。ここでは英語インターフェイスを日本語インターフェイスに変更する方法をご紹介します。



メインメニューより、［Tools］＞［System］＞［Preferences...］を選択します。



＜ General System Preferences ＞ウィンドウが現れます。［Interface］タブパネルの Language で［Japanese］を選択します。

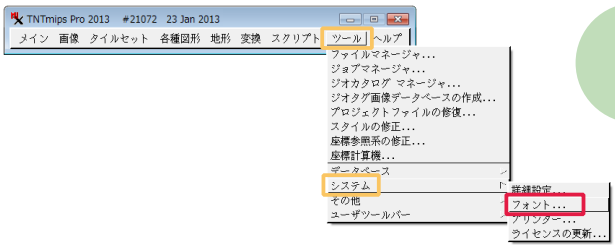


「Change will appear in next session」というメッセージが現れます。このメッセージと＜ General System Preferences ＞ウィンドウを閉じます。
TNTmips メニューを一旦終了してください。

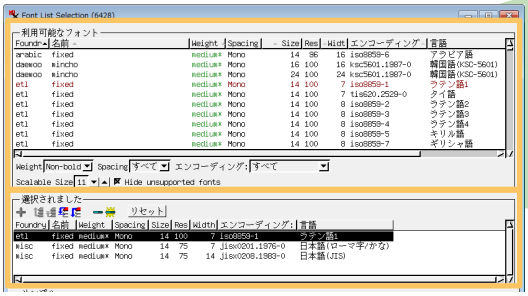
TNTmips を再び起動すると、日本語のメニューが表示されます。

5－2．フォントの設定

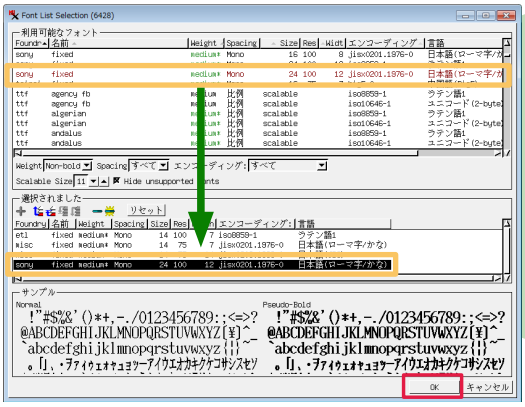
フォントも変えることができます。



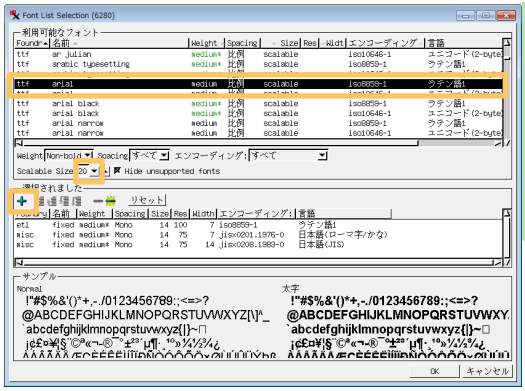
メインメニューより［ツール］＞［システム］＞［フォント ...］を選択します。



＜ Font List Selection ＞ウィンドウが現れます。このウィンドウ上段にある「利用可能なフォント」は利用できるフォントの一覧で、中段にある「選択されました」は実際に使用しているフォントの一覧です。

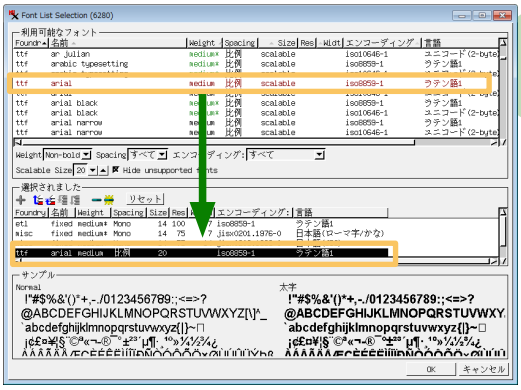


size 列に数字が書いてあるフォントは、“ビットマップフォント”です。「利用可能なフォント」欄からビットマップフォントを選択し、［加える］ボタンを押すと、選択したフォントが「選択されました」欄に移動します。

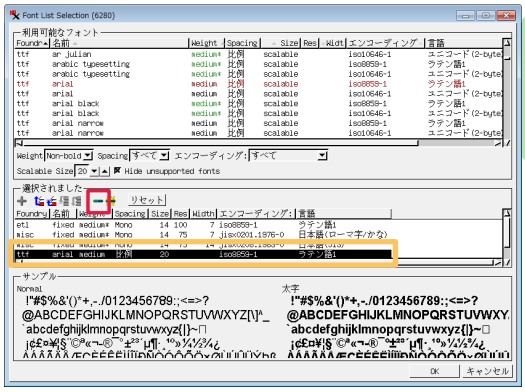


また、size 列に“scalable”と表示されているフォントは“スケーラブルフォント”です。スケーラブルフォントを使用する場合、フォントサイズを指定する必要があります。

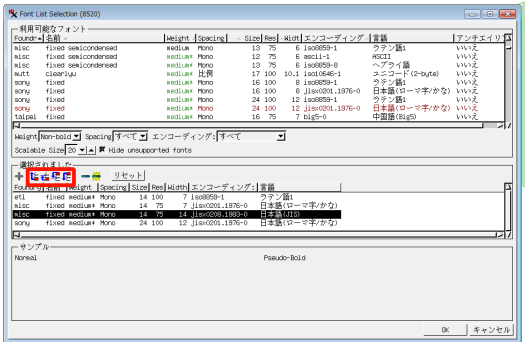
「利用可能なフォント」欄からフォントを選択し、Scalable Size 欄でフォントサイズを変更後、［加える］ボタンを押します。



選択したフォントが「選択されました」欄に移動します。また、選択されたフォントは「利用可能なフォント」欄で赤文字で表示されています。



「選択されました」欄からフォントを削除するには、この欄からフォントを選択して、［消去］ボタンを押します。



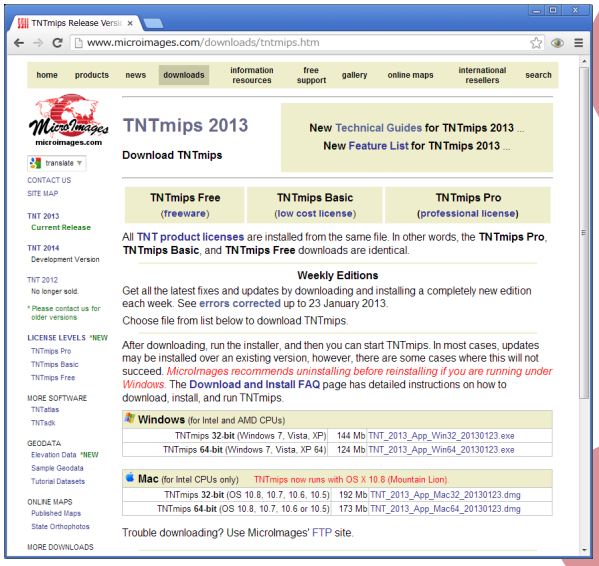
一般的に、「選択されました」欄で上にあるフォントほど優先的に使われます。ただし､ビットマップフォントとスケーラブルフォントを一緒にセットしている場合は、スケーラブルフォントが優先的に使われます。

［選択されました］欄内のフォントの並びは、［選択されました］欄にある［一番上に移動］、［上へ移動］、［下へ移動］、［一番下に移動］アイコンを使って変更します。

TNTmips を再起動すると、フォント設定が有効になります。

⑥パッチの適用

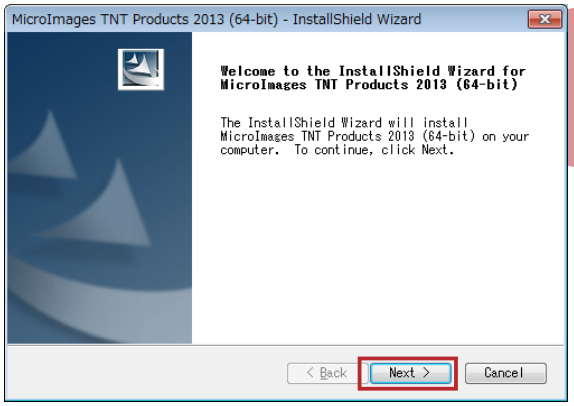
TNTmips を使っていると、エラーメッセージが出て処理が出来ない場合や、処理途中でフリーズしてしまうなどの問題が起こることがあります。これらの問題は様々なことが原因として考えられますが、TNTmips 自体の問題であれば、“パッチ”をあてることで問題が解決する場合があります。ここでは、マイクロイメージ社が毎週更新している最新のパッチの適用方法について解説します。



8 ページの「2－2．ダウンロードする場合」を参考にして、ご使用中の OS にあった TNTmips をダウンロードします。

ダウンロードしたパッチをインストールする前に TNTmips をアンインストールしてください。

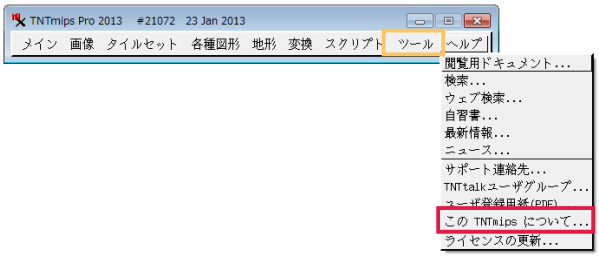
ダウンロードした exe ファイルを実行します。ユーザーアカウント制御が有効になっていると、インストールしてよいか許可を求めてきますので、［許可］を選択します。



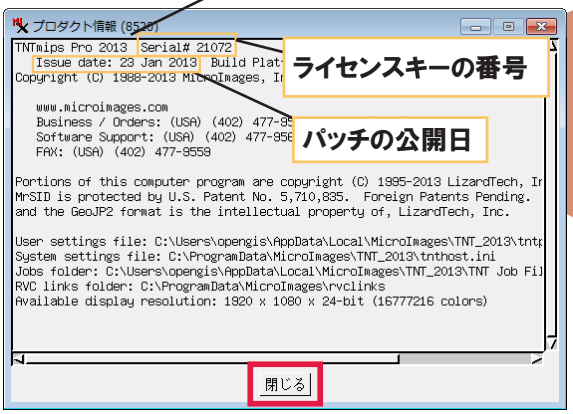
＜InstallShield Wizard＞ウィンドウが現れます。
以後の操作は 5 ページの「2－1．インストール DVD を使う場合」を参考に行ってください。

● 現在適用しているパッチの公開日の確認

インストールしたTNT mips に関する情報を表示します。



＜メインメニュー＞から［ヘルプ］＞［この TNTmips について...］を選択します。



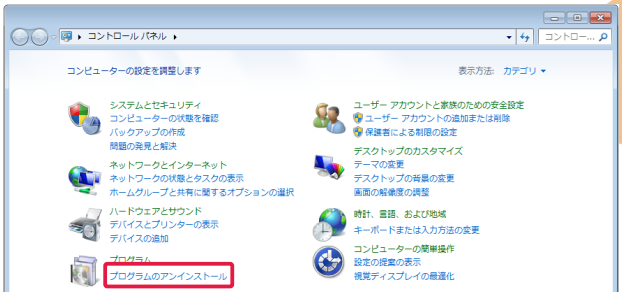
＜プロダクト情報＞ウィンドウが現れます。このウィンドウにはお使いの TNTmips についての様々な情報が記載されています。

⑦アンインストール

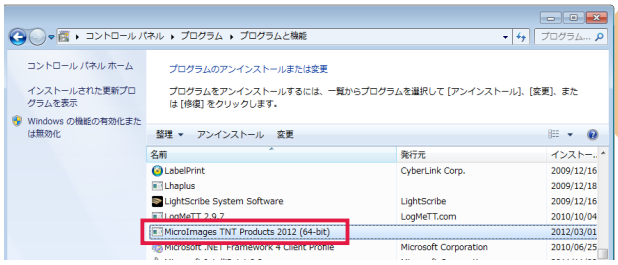
7－1．TNTmips のアンインストール

TNTmips のアンインストールはライセンスキーを抜いてから行ってください。

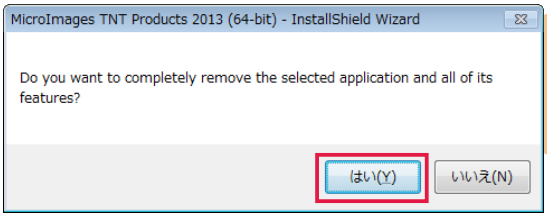
スタートメニューから、[コントロールパネル] を選択します。



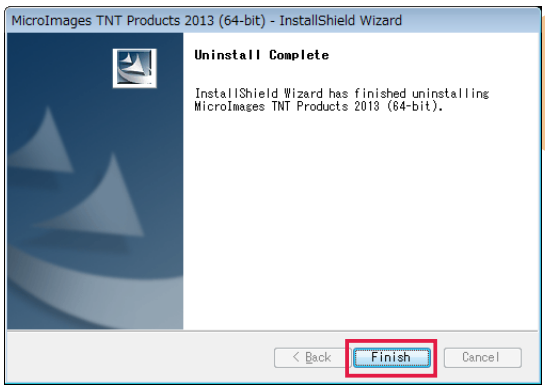
プログラム欄の［プログラムのアンインストール］を選択します。



アンインストールする TNTproducts を選択します。



「アンインストールしてもよいか」という確認のメッセージが現れます。［はい］ボタンを押すと、アンインストールが始まります。



無事アンインストールが終わると、「Uninstall Complete」というメッセージが現れます。メッセージを確認しましたら［Finish］ボタンを押してこのウィンドウを閉じます。

設定ファイルを含め完全にアンインストールする場合は、C ドライブ内の様々な場所にある設定ファイルやログファイルを削除します。

Windows XP の場合

- C:¥Documents and Settings¥All User¥Application Data
- C:¥Document and Setting¥All Users¥Application Data ※1
- C:¥Program Files ※ 2

Windows 8/ 7/Vista の場合

- C:¥Users¥ ユーザ名 ¥ マイドキュメント（Vista の場合はドキュメント）
- C:¥Program Data ※ 1
- C:¥Users¥ ユーザ名 ¥AppData¥Local ※1
- C:¥Program Files ※ 2

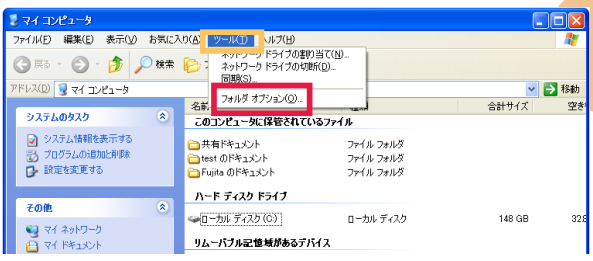
※ 1 デフォルトでは隠しフォルダになっています。
※ 2 通常は削除されているかと思いますが、残っているようでしたら削除してください。

隠しファイルとフォルダの表示方法

＜フォルダオプション＞ウィンドウから隠しフォルダの表示 / 非表示を設定します。OS によって＜フォルダオプション＞ウィンドウの呼び出し方が少し違います。

windows XP の場合

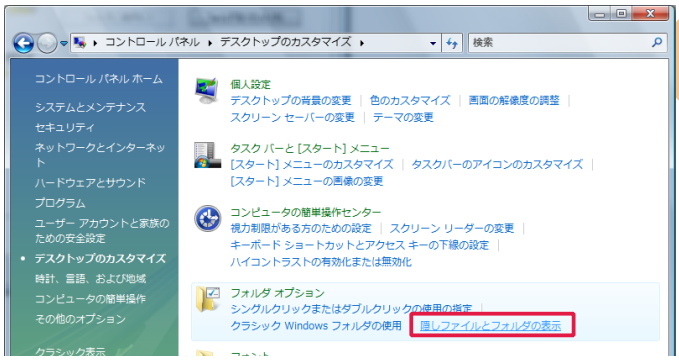
スタートメニューから、［ マイコンピュータ ］を選択します。



＜マイコンピュータ＞ウィンドウの［ ツール ］＞［ フォルダオプション ］を選択します。

Windows Vista の場合

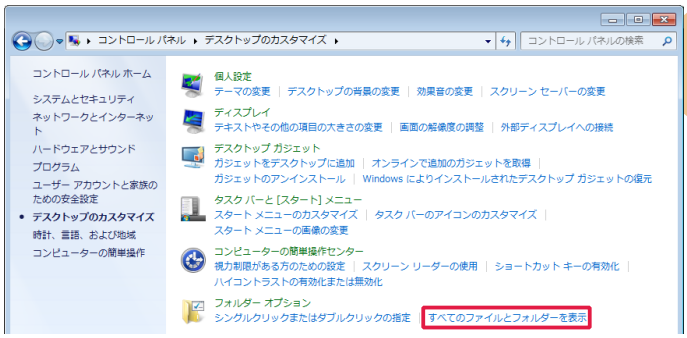
スタートメニューの [コントロールパネル] を選択し、[デスクトップのカスタマイズ] を選択します。



フォルダオプション欄の、[隠しファイルとフォルダの表示] を選択します。

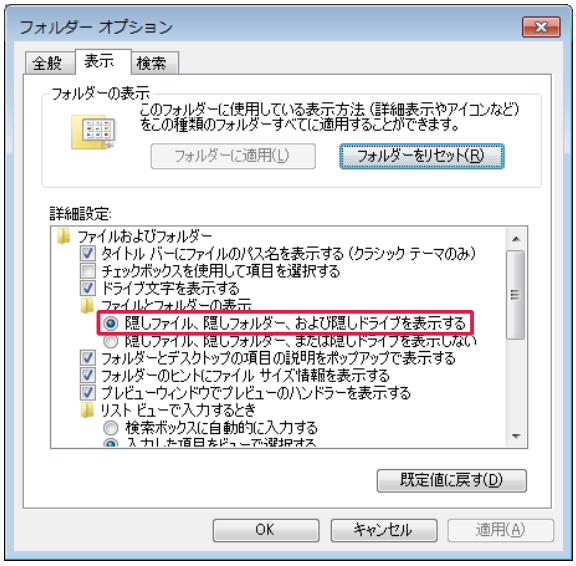
Windows 8/ 7の場合

スタートメニューから、[コントロールパネル] > [デスクトップのカスタマイズ] を選択します。



フォルダオプション欄の [すべてのファイルとフォルダーを表示] を選択します。

<フォルダオプション>ウィンドウが表示されましたら、[表示] パネルにある詳細設定欄に“ファイルとフォルダーの表示” という項目があります。この項目の [隠しファイル、隠しフォルダー、および隠しドライブを表示する] をチェックします。



7－2. キードライバのアンインストール

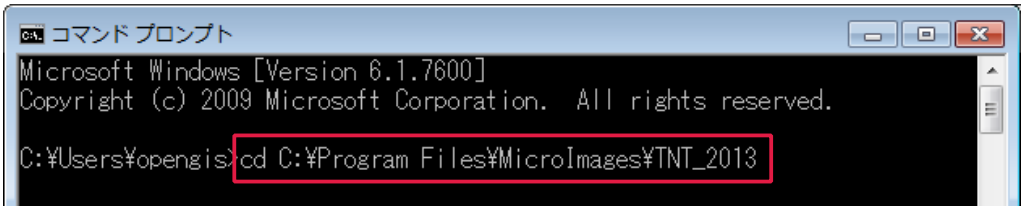
キードライバのアンインストールは、ライセンスキーを抜いてから行ってください。

スタートメニューから、［すべてのプログラム］＞［アクセサリ］＞［コマンドプロント］を選択します。

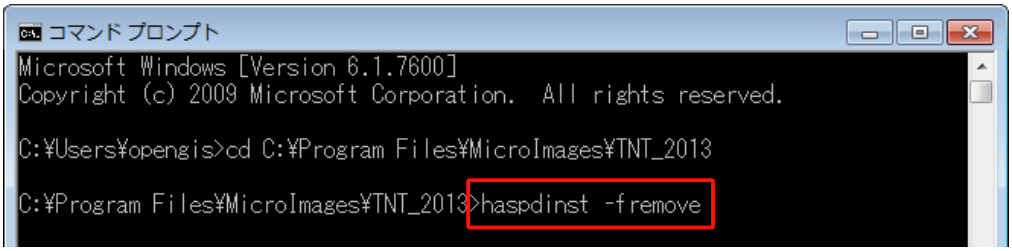
TNTmips2013 が保存されているフォルダに移動します。

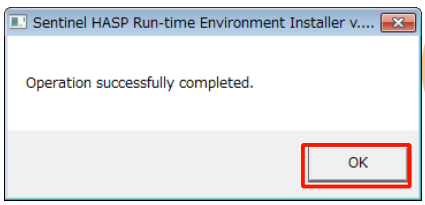
コマンドプロンプトより、cd␣C:¥Program␣Files¥MicroImages¥TNT_2013
と入力します。

注）␣は半角スペースを表しています。



プロンプトが C:¥Program FilesMicroImagesTNT_2013> であることを確認し、
haspdinst␣-fremove
と入力してください。





ドライバのアンインストールが終わりますと、“Operation successfully completed.”というメッセージが現れます。
［OK］ボタンを押し、このウィンドウを閉じます。
この操作で、プログラムが実行されない場合は、PC を再起動し、もう一度実行してください。

FAQ よくある質問

TNTmips2013 の最新情報！

マイクロイメージ社は、パッチ（新しいバージョンがリリースされた後に発見されたバグやエラーの修正プログラム）を米国時間で毎週水曜日に更新します。日本では木曜日にダウンロード可能になります。

毎週パッチをあてなくてはいけませんか？

毎週あてる必要はありません。ソフトに不具合がある場合にパッチをあてて下さい。

インストールができないで終了してしまう

同じ日付のパッチが適用された TNTmips が既にインストールされている場合、新たにインストールすることができないことがあります。その時はアンインストールをしてください。

インストール中にエラーが出てしまう

マイクロイメージ社が提供するインストール DVD を使って TNTmips をインストールしているすると、エラーが起こることがまれにあります。もしもエラーが起きたならば、マイクロイメージ社のサイトから最新の TNTmips をダウンロードしてください。

過去の TNTmips をダウンロードしたい!

マイクロイメージのサイトでの公開が終了してしまった過去の TNTmips を弊社サイトにて公開しています。
過去の TNTmips：
http://www.opengis.co.jp/htm/priormips.htm

Windows 7 で v2009 以前の mips を使いたい!

条件はありますが、お使いいただけます。詳しくは弊社サイトで解説いたしておりますので、そちらをご覧ください。
「Windows7 で TNTmips を使う」
http://www.opengis.co.jp/htm/basic/xpmode.htm

表示ウィンドウが出てこない！

無事にインストールが出来ても、表示ウィンドウが表示されない事があるようです。そのような時は、Windows MediaPlayer 9がインストールされているか確認してください。もしもインストールされていなければ、Windows MediaPlayer 9をインストールしてください。

HASP Net キーの対応バージョン

HASP Net キーは v2010 以降のバージョンに対応しています。ご注意ください。

Pro/Basic/Free の切り替えは

ライセンスキーを差し替え、スタートメニューから、［すべてのプログラム］＞［MicroImages］＞［TNT Products 2013］＞［License Configuration 2013］を起動してライセンス設定を変更してから TNTmips を起動してください。

最新情報は

www.opengis.co.jp

にて

随時提供しております

株式会社オープン GIS
〒 130-0001 東京都墨田区吾妻橋 1-19-14

TEL (03)3623-2851
FAX (03)3623-3025
URL http://www.opengis.co.jp/
E-mail info@opengis.co.jp